

令和4年度 行政評価調書

■施策の概要

(第7次総合計画 基本計画 P.94～95)

まちづくり 6つのテーマ	テーマ3 強味を生かした産業振興によるにぎわいのまち(産業振興)		
施策名	3-1 農林業		
所管部	産業港湾部	関係部	生活環境部
この施策の 目指すべき姿と その展開方向	<p>(第7次総合計画 基本構想 P.38)</p> <p>農地の高度利用により、生産性の高い農業の確立を図るとともに、札幌圏近郊の地理的優位性を生かした都市型農業の発展を目指します。</p> <p>このため、農業生産基盤の整備、施設栽培の促進や農業経営の改善、遊休農地の利活用を図るとともに、新鮮・安心・安全な小樽産農産物の普及拡大に努めます。</p> <p>林業については、自然環境の保全や水資源の確保など森林の持つ公益的機能を生かすため、森林の保全、整備に努めます。</p>		
市民アンケート 指標	小樽の農産物であることを意識して商品を選択する市民の割合	基準値	目標値
		36.2%	基準値より増

■施策の内容(小施策)

(第7次総合計画 基本計画 P.94～95)

小施策 及び 指標	(1) 農業経営基盤の強化		基準値	目標値
	指標	耕地面積	186ha	186ha
		認定農業者数	6件	20件
	(2) 市民に親しまれる地域農業の推進		基準値	目標値
	指標	市民体験農園の申込区画数	213区画	220区画
	(3) 森林整備の推進		基準値	目標値
	指標	森林面積	16,374ha	16,374ha

令和4年度 行政評価調書

■施策の評価(一次評価)

まちづくり 6つのテーマ	テーマ3 強味を生かした産業振興によるにぎわいのまち(産業振興)					
施策名	3-1 農林業					
所管部	産業港湾部	関係部	生活環境部			
市民アンケート 指標	小樽の農産物であることを意識して商品を選択する 市民の割合	基準値	令和3年度	令和5年度	目標値	
		36.2%	40.4%		基準値より増	
市民アンケート 指標の推移	◎	◎:指標の推移は順調 △:指標の推移は順調でない -:判定不能(実績値なし)				
各小施策の 指標の推移	指標		基準値	実績値	推移	目標値
	(1)	耕地面積	186ha	183ha	△	186ha
		認定農業者数	6件	5件	△	20件
	(2)	市民体験農園の申込区画数	213区画	171区画	△	220区画
(3)	森林面積	16,374ha	15,855ha	△	16,374ha	
指標推移は、基準年から目標年までに基準値から目標値まで平均的に増加(減少)させた場合の値を標準値とし、当該年度の実績値と標準値を比較して判定。 (目標値まで増加させる場合の例:実績値≥標準値⇒◎、実績値<標準値⇒△)						
【一次評価】 達成度の向上 等へ向けた今後 の方向性	C-1	(指標推移) A:各指標の推移は順調 B:各指標の推移は概ね順調 C:各指標の推移はあまり順調でない D:各指標の推移は順調でない	(改善内容等) 1:主な予算事業等をそのまま継続して推進する 2:主な予算事業等を改善しながら推進する 3:主な予算事業等の内容の全面的な見直しを行う			
総評及び今後の 具体的方針 ほか特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・農業の基盤安定のため地域農業の担い手である認定農業者の普及は重要であり、若い農業者や新規農業者に積極的にPRを行い、経営安定を図る必要がある。また、新規就農希望者には、北海道農業担い手育成センターへの相談を活用するなど、地域農業者となるための支援を図っていく。 ・森林所有者への植林支援事業である豊かな森づくり推進事業や森林の整備及びその促進に関連する森林環境譲与税では、その目的に沿った事業を確実に推進していく。 ・小樽産農産物の普及拡大として、市内飲食店へ実施したアンケート調査では、「小樽産の農産物が分からない」「情報が無い、流通面が分からない」などの意見が半数以上あり、今後は生産者と事業者(飲食店等)を結びつける取組を図っていく。 ・公設青果地方卸売市場は令和3年度で廃止となったが、市場施設は、引き続き市内青果物の流通拠点として活用していく。 					

■有識者会議による点検 (対象 非対象)

点検結果	
------	--

■施策の評価(二次評価)

【二次評価】 達成度の向上 等へ向けた今後 の方向性	C-2	(指標推移) A:各指標の推移は順調 B:各指標の推移は概ね順調 C:各指標の推移はあまり順調でない D:各指標の推移は順調でない	(改善内容等) 1:主な予算事業等をそのまま継続して推進する 2:主な予算事業等を改善しながら推進する 3:主な予算事業等の内容の全面的な見直しを行う
上記特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ○認定農業者の増加に向けて、制度の認知度向上に向けた取組のほか、認定の要件となっている農業経営改善計画作成のフォローなど、申請支援についても検討すること。 ○小樽産農産物のブランド化やイベント開催、ふるさと納税返礼品としての活用や、施策3-4「工業・企業立地」における地場産品の販路拡大などの取組との連携など、具体的な普及拡大策を検討・推進すること。また、販売店における小樽産品であることの表示拡大も検討すること。 ○市民体験農園について、アクセスマップの整備やホームページによる案内の充実など、新規利用者層の開拓に向けた改善策を講じること。 		

令和4年度 行政評価調書(小施策検討シート)

(1) 農業経営基盤の強化①

(第7次総合計画 基本計画 P.94～95)

指標	指標名		指標の基準年		基準値	目標値		
	耕地面積		平成27年		186ha	186ha		
	年度ごとの実績値		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			185ha	184ha	183ha			
指標推移	△	◎ : 指標の推移は順調 △ : 指標の推移は順調でない - : 判定不能(実績値なし)	指標推移は、基準年から目標年までに基準値から目標値まで平均的に増加(減少)させた場合の値を標準値とし、当該年度の実績値と標準値を比較して判定。 (目標値まで増加させる場合の例: 実績値 ≥ 標準値 → ◎、実績値 < 標準値 → △)					
主な取組	<p>★農地の確保、集積を図るため、農業生産基盤整備を促進(産業港湾部農林水産課)</p> <p>★農業の作業負担軽減や生産性向上を目指すため、施設栽培の促進(産業港湾部農林水産課)</p> <p>○鳥獣による農業被害への対策(産業港湾部農林水産課)</p> <p>○小樽産農産物の付加価値化による高収益化に向けた取組(産業港湾部農林水産課)</p> <p>○地域農業の担い手となる新規就農者の確保・育成に向けた取組(産業港湾部農林水産課)</p>							
主な 予算事業等 (令和3年度の 取組状況)	① 名称(事業番号)		② 決算(見込)額		③ 担当			
	④ 目的と概要							
	⑤ 事業等実施状況							
	1	① 施設栽培促進事業補助金(00785)		② 1,250 千円		③ 産業港湾部農林水産課		
		④ 施設栽培(ハウス栽培)の施設の近代化、グリーン化を実施し、農業者の負担を軽減し安定的な農産物生産を図る						
		⑤ 令和元年度: 施設関連資材補助 4件・パイプハウス付帯資材19件・被覆資材20件 令和2年度: 施設関連資材補助 4件・パイプハウス付帯資材16件・被覆資材21件 令和3年度: 施設関連資材補助10件・パイプハウス付帯資材19件・被覆資材17件						
	2	① 農業経営改善事業補助金(00786)		② 351 千円		③ 産業港湾部農林水産課		
		④ 施設栽培(ハウス栽培)での土壌改良、受粉作業などを実施し、安定的な農産物生産を図る						
		⑤ 令和元年度: 連作障害対策11件・交配用蜜蜂導入11件 令和2年度: 連作障害対策12件・交配用蜜蜂導入10件 令和3年度: 連作障害対策10件・交配用蜜蜂導入10件						
	3	① 農業次世代人材投資事業補助金(03248)		② 5,250 千円		③ 産業港湾部農林水産課		
		④ 地域の次世代を担う農業者となることを志向する者に対し、就農前の研修段階及び収納直後に資金を交付する						
		⑤ 令和元年度: 個人型1件・夫婦型2件 令和2年度: 個人型1件・夫婦型2件 令和3年度: 個人型1件・夫婦型2件						
	4	① 有害鳥獣駆除対策経費(00780)		② 1,823 千円		③ 産業港湾部農林水産課		
		④ 農作物の被害防止のため、有害鳥獣の駆除を行う						
		⑤ 捕獲頭数 令和元年度: エゾシカ89頭・アライグマ27頭・キツネ50頭・タヌキ115頭 令和2年度: エゾシカ153頭・アライグマ49頭・キツネ46頭・タヌキ133頭 令和3年度: エゾシカ153頭・アライグマ40頭・キツネ30頭・タヌキ48頭						
5	① 一般農道維持補修費(00782)		② 291 千円		③ 産業港湾部農林水産課			
	④ 運搬による収穫物の損傷を防止するため、農道整備を実施。							
	⑤ 令和元年度: 補修依頼19件・再生路盤材155m ³ 令和2年度: 補修依頼18件・再生路盤材150m ³ 令和3年度: 補修依頼14件・再生路盤材150m ³							
6	① 北海道農業担い手育成センター負担金(00784)		② 90 千円		③ 産業港湾部農林水産課			
	④ 市町村や関係機関と連携を図りながら、農業を始めたいと考える様々な相談に対応し、農村での研修や体験実習の紹介、必要な資金の貸付など総合的な支援を行う北海道農業担い手育成センター(公益財団法人北海道農業公社)に対する負担金							
	⑤ 令和元年度: 体験実習0件、就農研修0件 令和2年度: 体験実習0件、就農研修0件							
指標推移の要因等	農業者の高齢化に伴う離農や後継者不足により、農地面積は微減している。市内の農地は、地形的制約から傾斜地が多く、またまとまって形成している地域が少ないなど、新規就農地としては難しい一面もある。							
令和4年度の取組状況	< 指標推移に関連する主な予算事業等の改善や見直し等 > 耕地面積の減少を防ぐため、新規就農者の受入れや農業経営者、農業団体と連携を図り、農地の利用集積に向けた取組を進めていく							

指標推移への対応方針 (令和5年度以降)	<指標推移の要因、令和4年度の取組状況等を踏まえた今後の対応方針>	
	1	1:各事業をこのまま継続して推進する 2:予算事業等を改善しながら推進する 3:予算事業等の内容の全面的な見直しを行う
	引き続き、新規就農者の受入れや農業経営者、農業団体と連携を図り、農地の利用集積に向けた取組を継続していく	

令和4年度 行政評価調書(小施策検討シート)

(1) 農業経営基盤の強化②

(第7次総合計画 基本計画 P.94～95)

指標	指標名		指標の基準年		基準値	目標値		
	認定農業者数		令和元年		6件	20件		
	年度ごとの実績値		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			6件	6件	5件			
指標推移	△	◎ : 指標の推移は順調 △ : 指標の推移は順調でない - : 判定不能(実績値なし)	指標推移は、基準年から目標年までに基準値から目標値まで平均的に増加(減少)させた場合の値を標準値とし、当該年度の実績値と標準値を比較して判定。 (目標値まで増加させる場合の例: 実績値 ≥ 標準値 ⇒ ◎、実績値 < 標準値 ⇒ △)					
主な取組	○ 農業経営改善に取り組む認定農業者の増加に向けた取組(産業港湾部農林水産課)							
主な 予算事業等 (令和3年度の 取組状況)	① 名称(事業番号)		② 決算(見込)額		③ 担当			
	④ 目的と概要							
	⑤ 事業等実施状況							
	1	① 認定農業者の増加に向けた取組		② 予算なし 千円		③ 産業港湾部農林水産課		
		農業者の経営の改善・発展を目指すため農業経営改善計画を作成し、市が認定を行うことにより、税制の						
		④ 特例や融資支援が受けられる。認定農業者の増加に向けて、特に認定新規就農者の認定期間が終了する農業者に対し、積極的に認定申請の勧誘を行う。						
	⑤ 令和元年度:0件 令和2年度:継続認定1件 令和3年度:継続認定2件(継続なし1件)							
	2	①		② 千円		③		
		④						
		⑤						
	3	①		② 千円		③		
		④						
		⑤						
	4	①		② 千円		③		
		④						
		⑤						
	5	①		② 千円		③		
		④						
		⑤						
	6	①		② 千円		③		
		④						
		⑤						
	指標推移の要因等	認定農業者数が停滞傾向にある要因としては、5年後の目標とその達成のための取組内容を記載した農業経営改善計画の策定しなければならないこと、また認定期間が5年となっており継続のためには計画の達成状況の分析とともに新たな計画を策定しなければならないことなど、認定までの煩雑さがあることが考えられる。また、高齢で小規模な農家が多い中、認定農業者のメリット(融資の支援など)を感じていない農家が多いことが考えられる。						
	令和4年度の取組状況	< 指標推移に関連する主な予算事業等の改善や見直し等 > ・農業者に対し、認定農業者への支援措置などのメリットを理解してもらうため、農地補正調査時にパンフレットを送付するなど、認知度向上の取組を図っていく ・農業委員やJAなどの関係機関との連携を図り、認定農業者増加に向けた取組を行っていく						
指標推移への対応方針(令和5年度以降)	< 指標推移の要因、令和4年度の取組状況等を踏まえた今後の対応方針 >							
	1	1: 各事業をこのまま継続して推進する 2: 予算事業等を改善しながら推進する 3: 予算事業等の内容の全面的な見直しを行う ・農業者に対し、認定農業者への支援措置などのメリットを理解してもらうため、農地補正調査時にパンフレットを送付するなど、認知度向上の取組を継続していく ・農業委員やJAなどの関係機関との連携を図り、認定農業者増加に向けた取組を継続していく						

令和4年度 行政評価調書(小施策検討シート)

(2)市民に親しまれる地域農業の推進

(第7次総合計画 基本計画 P.95)

指標	指標名		指標の基準年		基準値	目標値		
	市民体験農園の申込区画数		平成30年		213区画	220区画		
	年度ごとの実績値		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			213区画	170区画	171区画			
指標推移	△	◎ : 指標の推移は順調 △ : 指標の推移は順調でない - : 判定不能(実績値なし)	指標推移は、基準年から目標年までに基準値から目標値まで平均的に増加(減少)させた場合の値を標準値とし、当該年度の実績値と標準値を比較して判定。 (目標値まで増加させる場合の例: 実績値≥標準値⇒◎、実績値<標準値⇒△)					
主な取組	<p>★農産物直売所、旧公設青果地方卸売市場等を活用した小樽産農産物の普及拡大(産業港湾部農林水産課)</p> <p>○市民体験農園や学童農園を活用した農業体験機会の確保(産業港湾部農林水産課)</p> <p>○旧公設青果地方卸売市場の青果物流通拠点機能の維持(産業港湾部商業労政課旧青果市場担当)</p>							
主な 予算事業等 (令和3年度の 取組状況)	① 名称(事業番号)		② 決算(見込)額		③ 担当			
	④ 目的と概要							
	⑤ 事業等実施状況							
	1	① 小樽産農産物の普及拡大		② 予算なし 千円		③ 産業港湾部農林水産課		
		④ 小樽産農産物の良さを知ってもらうために、市内飲食店に農産物の利用状況調査を実施。						
		⑤ 令和3年度は、市内飲食店へのアンケート調査を実施 (22店舗のうち12店舗回答)						
	2	① 市民体験農園		② - 千円		③ 産業港湾部農林水産課		
		④ 市民等が自ら農作物を育てる機会を提供する。「おたる自然の村」管理経費の一部として実施(100千円)。						
		⑤ 土地賃借料						
	3	① 学童農園		② 予算なし 千円		③ 産業港湾部農林水産課		
		④ 学童(小学校低学年など)、青少年等に自然と農業に親しむ機会を与える。						
		⑤ 体験人数 令和元年度: 1,110 人 令和2年度: 524人 令和3年度: 新型コロナウイルス感染症の影響により中止						
	4	① 旧公設青果地方卸売市場維持管理経費(定温庫冷蔵設備更新事業)(3363、3549、4485)		② 3,472 千円		③ 産業港湾部商業労政課旧青果市場担当		
		④ 老朽化のため故障が頻発した定温庫冷蔵設備を更新し、効果的な生鮮食料品の保存を可能とするもの。						
		⑤ 令和元年12月更新。令和9年11月までの96か月リース。リース料月額税抜き263,000円						
	5	①						
		④						
		⑤						
6	①		② 千円		③			
	④							
	⑤							
指標推移の要因等	市民体験農園利用者の高齢化や新型コロナウイルスの影響などにより新規加入者の増加が見込めなかったことと、周知不足も利用件数の増加に繋がらなかった要因となっているものと考え。							
令和4年度の取組状況	<指標推移に関連する主な予算事業等の改善や見直し等> 実施計画内容について、特に変更はなし。積極的に活動組織への協力依頼や、参加者に対して体験農園の魅力アピールを発信してもらうよう取り組んでいく。							
指標推移への対応方針 (令和5年度以降)	<指標推移の要因、令和4年度の取組状況等を踏まえた今後の対応方針>							
	1	<p>1: 各事業をこのまま継続して推進する</p> <p>2: 予算事業等を改善しながら推進する</p> <p>3: 予算事業等の内容の全面的な見直しを行う</p> <p>・市民体験農園の募集について、参加者からの声掛けを依頼するとともに、おたる自然の村事業に参画する協議会や同好会等に協力を依頼するなど周知強化の継続を行うこととする。</p>						

令和4年度 行政評価調書(小施策検討シート)

(3) 森林整備の推進

(第7次総合計画 基本計画 P.95)

指標	指標名		指標の基準年		基準値	目標値	
		森林面積		平成27年		16,374ha	16,374ha
指標推移	△	◎ : 指標の推移は順調 △ : 指標の推移は順調でない - : 判定不能(実績値なし)	年度ごとの実績値		令和元年度	令和2年度	
					-	-	15,855ha
指標推移			指標推移は、基準年から目標年までに基準値から目標値まで平均的に増加(減少)させた場合の値を標準値とし、当該年度の実績値と標準値を比較して判定。(目標値まで増加させる場合の例: 実績値≥標準値⇒◎、実績値<標準値⇒△)				
主な取組	<p>★緑地環境の保全や水資源・森林資源の確保のため、森林の整備推進や保護・育成(産業港湾部農林水産課)</p> <p>○北海道指定の環境緑地保護地区・自然景観保護地区・記念保護樹木について北海道との連携による保全(生活環境部環境課)【共5-1環境保全】</p>						
主な 予算事業等 (令和3年度の 取組状況)	① 名称(事業番号)		② 決算(見込)額		③ 担当		
	④ 目的と概要						
	⑤ 事業等実施状況						
	1	① 未来につながる森づくり推進事業補助金(02530)		② 1,350 千円		③ 産業港湾部農林水産課	
		④ 市と道が連携し、水資源の保全、山地災害防止等の発揮に配慮した伐採後の植林等の支援を確実にこなし、森林資源の循環利用を促進させる。					
		⑤ 市内の伐採後の民有林人工林で植林を実施 令和元年度: 1.9ha 令和2年度: 3.2ha 令和3年度: 4.7ha					
	2	① 森林環境整備事業費(03552)		② 9,897 千円		③ 産業港湾部農林水産課	
		④ 森林環境譲与税を活用し、市域の森林を適切に管理するため、未整備森林の整備、森林機能の普及啓発、木材利用促進等に取り組み、温室ガスの削減や災害の未然防止を目的とする。					
		⑤ 森林意向調査年次計画、危険木等処理作業や木製アスレチック遊具の更新を行う。					
	3	① 自然公園の保全		② - 千円		③ 生活環境部環境課	
		④ すぐれた自然の風景地を保護するとともに自然とふれあう環境づくりに努め利用の促進を図る目的で自然公園を保全するもの。					
		⑤ ニセコ積丹小樽海岸国定公園の自然探勝路において清掃作業の協力をし、また、北海道が指定している環境緑地保護地区・自然景観保護地区・記念保護樹木について北海道との連携により保全活動を実施した。					
	4	① 北海道自然環境等保全条例に基づく事務の執行		② - 千円		③ 生活環境部環境課	
		④ 北海道が環境緑地保護地区等の区域内における無秩序な開発抑制を目的に設けている北海道自然環境等保全条例及び同条例施行規則に基づき、事務委任を受けている市が届出事務を執行するもの。					
		⑤ 環境緑地保護地区等の区域内における工作物の新築等の行為の届出、記念保護樹木の現状を変更する行為の届出などを受理。令和3年度は0件。					
5	①		② 千円		③		
	④						
	⑤						
6	①		② 千円		③		
	④						
	⑤						
指標推移の要因等	指標は令和2年度の農林業センサスの実績数値であるが、高速道路、新幹線などのインフラ整備など都市化が進んでおり、基準値より年々減少している状態となっている。						
令和4年度の取組状況	<指標推移に関連する主な予算事業等の改善や見直し等> 実施計画内容について、特に変更はなし。従来取組内容を継続。						
指標推移への対応方針 (令和5年度以降)	<指標推移の要因、令和4年度の取組状況等を踏まえた今後の対応方針>						
	1	1: 各事業をこのまま継続して推進する 2: 予算事業等を改善しながら推進する 3: 予算事業等の内容の全面的な見直しを行う ・国の重要インフラ整備(新幹線等)が進行することで、森林面積の維持は難しいことから、森林の質的な向上である、循環利用の視点を持ち進める対応とするため、未来につながる森づくり推進事業、森林環境税を活用した未整備民有林の事業などへ取組む。					